

# 野々市ふれあい歩道

— 高齢者の目線に立って考える —

野々市庁舎前の歩道より



## 目的

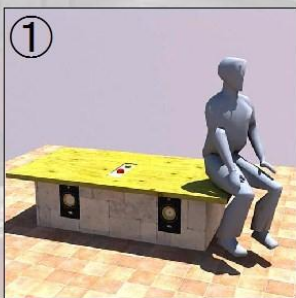
現在、野々市町は高齢者が増加しているが、それに対応できる歩道が未整備である。



高齢者が楽しめる。  
歩行するのに安全。  
景観的に美しい。

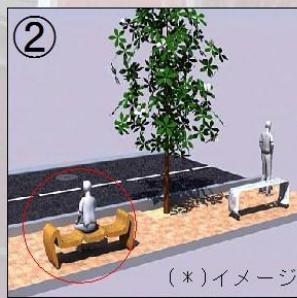
…以上、3点に着目して歩道を設計する

## 歩道における提案



### ① 座音

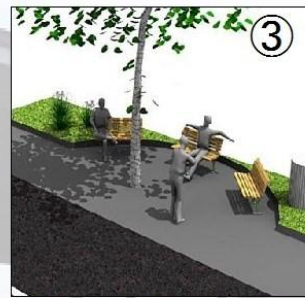
100m間隔に太陽電池を利用した音の出るベンチを設置する。お年寄りが休憩した際に安らぎ・癒しを与える。



### ② オブジェ兼ベンチ

視覚的にも楽しめるようなベンチを歩道の脇に設置する。景観にもアクセントを加えている。

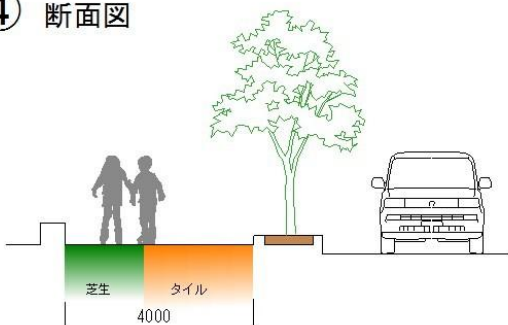
(\*)イメージ



### ③ 休憩所を設ける

100m間隔に2m×4mの広さの休憩所を設ける。高齢者が長い距離を歩くと疲れてしまうので、小規模な休憩所をいくつも設ける。

### ④ 断面図



歩道を芝生とタイルの2ゾーンに分ける。芝生の道は、高齢者などが転んだときにクッションの役割を果たす。タイルの道は、普段自転車や若年層が使用する。

金沢工業大学

2009年度 プロジェクトデザイン2

プロジェクトテーマ: 高齢者がいきいき

街中を移動できる街づくり

クラス番号: VA301

チーム番号: 1

チーム名: ゆきやす

チームメンバー名: 浅田直人 荒木健太 江田一行

大井靖之 久保祐輔 関口美紀

担当教員名: 内田 奈芳美